

事業所名 放課後等デイサービス A-ZKID' S+

支援プログラム

作成日

2026年

4月

1日

法人（事業所）理念		利用者やご家族の物心両面の豊かな人生を支援する・縁ある人を幸せに導いていく。							
支援方針		学校終了後や長期休暇中に、安心して過ごせる居場所を提供し、生活能力の向上、社会性の育成、集団活動への参加を支援します。児童一人ひとりの発達状況や特性に応じて、個別支援・小集団支援を行い、家庭・学校・関係機関と連携しながら、将来の自立に向けた力を育みます。また、運動療法に特化した放課後等デイサービスとして、専門スタッフによる身体機能の向上支援を重点的に実施します。							
営業時間		平日	12時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
		休日、長期休暇	12時	0分	16時	0分			
支援内容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時の健康状態の確認、表情・声の変化などの観察を行い、体調の把握に努めます。 ・学校後の疲れや気持ちの切り替えに配慮し、手洗い、うがい、排泄、身だしなみ、荷物管理など、基本的な生活習慣の定着を支援します。 ・運動療法前後の水分補給・休息の声掛けを行い、健康管理を徹底します。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・専門スタッフによる運動療法を実施し、姿勢保持、体幹強化、バランス能力、協調運動の向上をめざします。 ・感覚過敏・鈍麻、不器用さに配慮し、活動量・環境調整・道具選びを個別に調整します。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール掲示、タイマー等を活用し、見通しを持って行動できるよう支援します。 ・宿題、制作、ルールのある遊び等を通じて、集中力・理解力・切り替え力を育てます。 ・運動療法の中でも「順番を待つ」「指示を聞く」「ルールを守る」などの行動面の支援を組み込みます。 							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつなど、日常生活に必要なやり取りを支援します。 ・言葉だけでなく、ジェスチャーや視覚的支援を活用し、本人に合った表現方法を広げます。 ・運動活動を通じて、他児とのやり取りや協力場面を増やし、自然なコミュニケーション機会を提供します。 							
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団活動を通じて、順番を待つ、ルールを守る、友だちとの距離感を学ぶ支援を行います。 ・成功体験を積み重ねながら、他児との関わりや社会参加への意欲を育みます。 ・運動療法のペア活動・チーム活動を通じて、協力・共感・役割理解を促します。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や連絡帳、アプリ等を通じて日々の様子を共有し、家庭での困りごとや成長に関する相談に対応します。 ・運動療法の成果や家庭でできる簡単な運動の提案も行います。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・学校、相談支援事業所、医療機関、関係機関と情報共有を行い、児童の発達状況や支援方針を共有します。 		
地域支援・地域連携		イベントへの参加や公共施設(公園等)の活用を通して地域との交流する機会を行います。			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・運動療法に関する研修、虐待防止、身体拘束、感染症、人権・福祉に関する研修を定期的実施します。 ・2店舗間でケース検討会を行い、支援の質を高めます。 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節に関するイベント(夏祭り・クリスマス・お花見・ハロウィン)等・食育に関するイベント(ポップコーン・かき氷・ホットケーキ・焼きそば・スイーツ作り)等 							